

学位論文審査の要旨

		要 旨
学位申請者	畑 朋美 【ライフサイエンス専攻 平成26年度生】	<p>本学位論文では、カチオン性抗菌物質のうち乳酸菌が生産するバクテリオシンについて、新規バクテリオシン単離を含む構造解析と諸性質の解明、食品モデルでの有効性の検証を行っている。さらには、プロタミン及びε-ポリリジンによる糖濃度の高い食品（餅、パン）での抗カビ効果を研究し、その成果をまとめている。審査委員会は、新たなバクテリオシンの学術的解析と応用性、また既存保存料が効率よく抗カビ性を示す条件を提示したことに対し、天然カチオン性抗菌物質の学術的解析と実行性を科学的に証明していると判断し、本研究意義を評価した。</p> <p>第1回審査委員会において、本論文が内容的に審査開始十分であると評価された。第2回審査会において、論文内容全体から鑑みて、論文題目の訂正（実効的研究→食品保存学的研究）が審査会一致で示唆され、速やかに訂正した。併せて口頭発表および口頭試問がなされ、審査委員より考察の追記や文言整理などの指摘を受け、その修正を求められた。指摘に従い、的確に論文の修正を行った。さらに公開発表会での口頭試問を実施し、専門的な受け答えと十分な内容の説明を行ったと評価した。</p> <p>本論文の研究成果に関しては、国際誌に主著2報（<i>J. Food Safety</i> 2016, in press, doi:10.1111/jfs.12250 ; <i>J. Food Process. Preserv.</i> 2016, in press, doi:10.1111/jfs.12700）への掲載が受理されている。本研究内容を精査した結果、ライフサイエンス専攻内規を満たし、早期修了に能う優秀な研究内容であると判断した。</p> <p>以上の事柄を総合して、本審査委員会は、本論文を本学大学院人間文化創成科学研究科における博士（生活科学）、Ph. D. in Food Science の学位を受けるに相応しいものと判断した。</p>
論文題目	天然物由来カチオン性抗菌物質に関する食品保存学的研究	
審査委員	(主査) 教授 森光 康次郎	
	教授 村田 容常	
	教授 香西 みどり	
	教授 鈴木 恵美子	
	講師 市 育代	
インターネット公表	<p>○ 学位論文の全文公表の可否（可・否）</p> <p>○ 「否」の場合の理由</p> <p style="margin-left: 20px;">ア. 当該論文に立体形状による表現を含む</p> <p style="margin-left: 20px;">イ. 著作権や個人情報に係る制約がある</p> <p style="margin-left: 20px;">ウ. 出版刊行されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">エ. 学術ジャーナルへ掲載されている、もしくは予定されている</p> <p style="margin-left: 20px;">オ. 特許の申請がある、もしくは予定されている</p> <p>※ 本学学位規則第24条第4項に基づく学位論文全文のインターネット公表について</p>	